書式第12号（法第28条関係）

事業報告用

令和7年度　事業報告書

特定非営利活動法人　日本プール利用推進協会

1　事業の成果

研究活動）令和7年度は、研究顧問が所属する大学との連携で研究活動についての検討を進めていった。

提言活動）日本水泳・水中運動学会への参加や「プール利用白書」構想などを進めていった。

2　事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業　（事業費の総費用【0】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
水中運動等研究事業	研究方法についての調査	随時	オンライン	3人	ー	ー	0円
プール指導者・利用者の支援事業	プール利用白書構想の推進	随時	オンライン	2人	ー	ー	0円

（2）その他の事業　（事業費の総費用【　　】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費（千円）

〔2025年度を終えて〕
2025年度は、それまで行ってきたアモーレリフティングや水中運動会などの主催者での実施は行わず、「研究」「提言」の活動に注力していった1年となった。

特に研究活動においては、[redacted]が中心となり、今年度より具体的な活動として開始できるよう、[redacted]とともに精力的に推進していってくださっている。

また、提言活動の1つとして、「プール利用白書」の作成の構想も進めた1年となった。
このプール利用白書（仮）は、NPO法人として日本プール利用推進協会が取り組む課題を深堀し、「誰の」「どんな」課題を解決する活動をするのかを明確にするために、「課題の解像度を上げる」という作業の成果物として作成するものである。

プールの課題の抽象度がまだ高く、仮説検証をする以前の「仮説」を立てるためにもこの解像度を上げるという作業は大切だと考えている。
団体の活動を決める内部的な資料としてだけでなく、プールに関わる人々が現状把握をし、プールに関する活動を自分ごととしてとらえ、「日本のプールを誰でもアクセスしやすい場所にする」ための活動に参加してもらうために、解像度を上げる過程を白書という形の成果物にし、発信していく予定である。

現在は、プールを取り巻く人々を以下の7分類に分け、それぞれの課題を明確にしていくことを白書の中心コンテンツとする予定である。

〈プールを取り巻く人々の7分類〉
1）プール必須者
プールが生活の一部になっており、プールを利用したいと思っている人。「忙しい」「遠い」などの多少の障壁があっても自分で時間を見つけあらゆる手段を使ってプールに向かい、プールを利用しようとする。身体の機能の維持や日常生活を送るために、プールの利用が欠かせない人。

2）積極的プール利用者
プールが生活の一部になっており、自分の意思でプールを利用している人。「忙しい」「遠い」などの多少の障壁があっても自分で時間を見つけあらゆる手段を使ってプールに向かい、プールを利用する。健康維持でプールを利用している人、趣味が水泳の人、競技者など。

3）プール利用切望者
1）2）のうち、プール環境や自身の理由でプールの利用ができていない人。車椅子で利用可能なプールがない、利用に必要な付き添いの人がいない（異性の家族とプールを利用したいが更衣室の問題で利用が難しい方や利用に際して介助が必要な方）、近くにプールがない方など。

4）消極的プール利用者
自分の意思ではプールを利用しないが、自分以外の人が利用するための付き添いなどの理由でプールを利用している人。その人自身は強く「プールを利用したい」とは考えていないが、付き添う対象者（家族・介助対象者）の強いニーズ、もしくは対象者にとって良いとその人自身が考えて、時間や手段をやりくりしてプールを利用する。プール利用に手助けが必要な人の付き添いの人（子供の付き添いの保護者・障がい者の方の付き添いの方など）

5）潜在的プール必須者
自身の心身の健康にプールが有効であるが、それに気づかず利用に至っていない人。プールの効果の情報に出会えていない、プールのイメージが「泳ぐ場所」との概念があり利用に至っていない、プールの使いにくさのイメージがあるなどが理由。プールの効果を知り体験することで、積極的プール利用者になる可能性がある。

6）消極的プール未利用者
現時点でプールを生活に必要としないため、近くにいても時間があってもプールを利用しない。利用する機会は、レジャーや学校での授業など。

7）積極的プール未利用者
水が苦手・泳げない（泳がないといけないと思っている）・水着にならないといけない・化粧を落とさないといけな

い・更衣室が不衛生と感じるなど、プール環境や自身由来のさまざまな制約により、利用を避けている

〔2026年度に向けて〕
2026年度はこのプール利用白書構想をもとに、プールの課題の解像度をあげ、現状把握から実現仮説（課題解決のための具体的なアプローチの設定）のステップへ進むために、プール利用白書のプロトタイプ（試作品）の完成を目指す。

［参考：日本政策金融公庫 ビジネスプラン見える化BOOKより］
組織使命（ミッション）：なぜこの団体が存在し、誰のために活動するのかを再確認する。
現状把握：内部リソース、外部環境、これまでの活動実績を客観的なデータで分析する。
実現仮説：課題解決のために、自分たちのNPOだからこそできる具体的なアプローチ（事業アイデア）を設定する。
成果目標：事業によって生み出したい具体的な変化（成果）を数値などで定義する。
財源基盤：寄付、助成金、事業収入など、活動を継続するための資金計画を立てる。
組織基盤：メンバー、ボランティア、ガバナンスなど、計画を実行するための体制を整える。

このプロトタイプをもとに、2027年度以降具体的な活動の計画・実施と、プール利用白書自体もより本格的なものを作成していく予定である。

少ない人数での限られた時間での活動となるが、100年先のプールにたくさんの笑顔が溢れている未来を目指し、確度の高い活動を少しづつでも実施していきたいと考えている。

書式第１４号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和７年度　活動計算書（その他事業がある場合）

特定非営利活動法人　日本プール利用推進協会

（単位：円）

科目	特定非営利活動に係る事業		その他事業		合計
	金　額	小計・合計	金　額	小計・合計	
【Ａ】　経　常　収　益					
１　受取会費		24,000		0	24,000
賛助会員受取会費	24,000				
２　受取寄附金		90,000		0	90,000
受取寄附金	90,000				
３　受取助成金等		0		0	0
４　事業収益		5,500		0	5,500
プール活動の広報事業収益	5,500				
５　その他の収益		0		39	39
受取利息			39		
経　常　収　益　計		119,500		39	119,539
【Ｂ】　経　常　費　用					
１　事業費					
（１）人件費		0		0	0
（２）その他経費		270,000		0	270,000
諸謝金	30,000				
研究開発費	240,000				
事業費計		270,000		0	270,000
２　管理費					
（１）人件費		0		0	0
（２）その他経費		293,374		0	293,374
通信運搬費	52,909				
諸謝金	240,000				
支払手数料	465				
管理費計		293,374		0	293,374
経　常　費　用　計		563,374		0	563,374
当　期　経　常　増　減　額　【Ａ】－【Ｂ】・・・①		-443,874		39	-443,835
【Ｃ】　経　常　外　収　益					
固定資産売却益					
過年度損益修正益					
経　常　外　収　益　計		0		0	0
【Ｄ】　経　常　外　費　用					
固定資産売却損					
災害損失					
過年度損益修正損					
経　常　外　費　用　計		0		0	0
当　期　経　常　外　増　減　額　【Ｃ】－【Ｄ】・・・②		0		0	0
経　理　区　分　振　替　額　・・・③					
税　引　前　当　期　正　味　財　産　増　減　額　①＋②＋③・・・④		-443,874		39	-443,835
法人税、住民税及び事業税　・・・⑤					
前期繰越正味財産額　・・・⑥					-1,493,662
次　期　繰　越　正　味　財　産　額　④－⑤＋⑥					-1,937,497

書式第１５号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和７年度　貸借対照表

特定非営利活動法人　日本プール利用推進協会

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【Ａ】　資　産　の　部		
１　流動資産		
		41,272
現金預金	15,272	
未収入金	26,000	
流動資産合計　・・・①		41,272
２　固定資産		
（１）有形固定資産		0
（２）無形固定資産		0
（３）投資その他の資産		0
固定資産合計　・・・②		0
【Ａ】資　産　合　計　①＋②		41,272
【Ｂ－１】　負　債　の　部		
１　流動負債		
		0
流動負債合計　・・・③		0
２　固定負債		
		1,978,769
長期借入金	1,978,769	
固定負債合計　・・・④		1,978,769
負　債　合　計　③＋④		
【Ｂ－２】　正　味　財　産　の　部		
前期繰越正味財産額	-1,493,662	
当期正味財産増減額	-443,835	
正　味　財　産　合　計		-1,937,497
【Ｂ】　負　債　及　び　正　味　財　産　合　計　【Ｂ－１】＋【Ｂ－２】		41,272

書式第１７号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和７年度　財産目録

特定非営利活動法人　日本プール利用推進協会

（単位：円）

科目	金額	小計	合計
【Ａ】　資　産　の　部			
１　流動資産			
現金預金			
手元現金	5,885		
ゆうちょ銀行普通預金	9,387		
		15,272	
未収入金			
賛助会員会費未収入金	26,000		
		26,000	
流動資産合計　・・・①			41,272
２　固定資産			
（１）有形固定資産			
（２）無形固定資産			
（３）投資その他の資産			
固定資産合計　・・・②			
【Ａ】資　産　合　計　①＋②			41,272
【Ｂ－１】　負　債　の　部			
１　流動負債			
流動負債合計　・・・③			
２　固定負債			
長期借入金			
[redacted]借入金	1,978,769		
		1,978,769	
固定負債合計　・・・④			1,978,769
【Ｂ－１】負　債　合　計　③＋④			1,978,769
【Ｂ－２】正　味　財　産　合　計　【Ａ】－【Ｂ－１】			-1,937,497

書式第１６号（法第２８条関係）

令和７年度　　計算書類の注記

事　業　報　告　用

特定非営利活動法人　　日本プール利用推進協会

１．　重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年７月20日　2011年11月20日一部改正　NPO法人会計基準協議会）によっています。

（１）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

２．　事業別損益の状況

（単位：円）

科目	水中運動研究事業	プール活動の広報事業	プール指導者・利用者の支援事業	その他の事業	事業部門計	管理部門	合計
Ⅰ　経常収益							
１．受取会費					0	24,000	24,000
２．受取寄附金		90,000			90,000		90,000
３．事業収益		5,500			5,500		5,500
４．その他収益				39	39		39
経常収益計	0	95,500	0	39	95,539	24,000	119,539
Ⅱ　経常費用							
（１）人件費					0		0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
（２）その他経費							
諸謝金		30,000			30,000	240,000	270,000
研究開発費	240,000				240,000		240,000
通信運搬費					0	52,909	52,909
支払手数料					0	465	465
その他経費計	240,000	30,000	0	0	270,000	293,374	563,374
経常費用計	240,000	30,000	0	0	270,000	293,374	563,374
当期経常増減額	-240,000	65,500	0	39	-174,461	-269,374	-443,835

３．　借入金の増減内訳

（単位：円）

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金 （[redacted]借入金）	1,339,769	639,000		1,978,769
合計	1,339,769	639,000	0	1,978,769

７．　役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

（単位：円）

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人との取引
（活動計算書）			
賛助会員受取会費	24,000		18,000
受取寄附金	90,000		
事業収益	5,500		
活動計算書計	119,500	0	18,000
（貸借対照表）			
長期借入金	1,978,769	1,978,769	
貸借対照表計	1,978,769	1,978,769	0

書式第18号（法第28条関係）

事業報告用

年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人　日本プール利用推進協会

1　確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

☑以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
☑各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2　役員一覧

	役名 どちらかに○	（フリガナ） 氏名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
1	理事	ヤマモト　アヤミ 山本　彩海		2025年　4月　1日～ 2026年　3月　31日	年　月　日 ～ 年　月　日
2	理事	ヨコヤマ　ミスミ 横山　三純		2025年　4月　1日～ 2026年　3月　31日	年　月　日 ～ 年　月　日
3	理事	ニシガワ　ジュンヤ 西川　隼矢		2025年　4月　1日～ 2026年　3月　31日	年　月　日 ～ 年　月　日
4	監事	オダ　トモコ 織田　智子		2025年　4月　1日～ 2026年　3月　31日	年　月　日 ～ 年　月　日
5	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
6	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
7	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
8	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
9	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
10	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

設立・事業報告用

社員名簿（社員のうち１０人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人　日本プール利用推進協会

	氏　　名	[redacted]
１	岡崎寛	
２	織田智子	
３	中西悠子	
４	辻村尚子	
５	藤田ひとみ	
６	村上 浩宣	
７	横山三純	
８	西川隼矢	
９	櫻井　宏樹	
１０	山本　彩海	
12		